

## 式辞

日に日に陽ざしが確かさをまし、どちらを見ても山笑う、心の浮き立つ季節が近づいてまいりました。本日ここに、平素より本校を愛し、御支援をいただいております、本校ゆかりの皆様御臨席をたまわり、また、今日のこの佳き日を心から喜んでいらっしゃる保護者の皆様御同席を得て、入学式を挙行できますこと、新入生とともに職員一同、厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました全日制 283 名、定時制 9 名の新入生の皆さん、御入学、誠におめでとうございます。本校は、明治 17 年に設置された長野県中学校に由来し、明治 32 年に長野県立長野中学校として独立してから、125 年の歴史を刻んでまいりました。この学び舎を巣立った諸先輩方は日本のみならず世界の各界で活躍されています。また、70 年を超える伝統を培う定時制は、一人一人の生徒の希望により沿う、丁寧できめ細やかな指導で広く定評のあるところです。

保護者の皆様、本日から、お子様は本校の生徒として第一歩を踏み出される訳でございますが、わが子の成長を見つめながら、お過ごしになられた年月に深甚なる敬意と、心からの祝意を表すところです。それぞれのお子様と与えられた才能を最大限に開花され、逞しく社会的自立を果たしていくことができるよう、職員一同努力を惜しまない所存でございます。

さて、今日ここに集い、長野高校の門をくぐろうとしているみなさんに、私にはお話ししたいことがあります。

「愛のあいさつ」や「威風堂々」などの曲で知られる英国の作曲家エドワード・エルガーは 1899 年、管弦楽のために「エニグマ変奏曲」という組曲を作曲しました。エニグマというのは英語で「謎」という意味です。何が謎かというと、組曲の一つ一つには「C.A.E」とか「R.B.T」あるいは「W.N」などとアルファベットの題名がつけられていて、それが人物を表しているというものでした。現在では全 14 曲のうちほとんどの謎解きは完了したのですが、13 曲目 1 曲は誰のことなのか今も謎のままです。また、もう一つ、作曲者自身によると「この曲集には全体を貫いている、けして演奏されない一つの主題がかくされている」とのことですがこれも特定できていません。

第 13 曲が誰のことを表しているのか、全体を貫く隠された主題とは何か、これらの謎に魅了されながら、あらゆる謎そのものの美しさを礼賛しているかのようなこの組曲は世界中の人々に愛されています。みなさんも耳にしたことがきっとあると思います。

謎は人間をとりこにします。例えば、私はなぜ自分なのか。なぜ、私は他の人でないのか。私はなぜこの時代に生まれたのか。私たちには全くわからない。このような難題を人々は何世紀にもわたってじっと考え続けてきました。皆さんは謎の深さとその魅力について考えたことはありますか。太陽や月、星の正体を知らなかった太古の人々は、その不思議を、飽くことなく見上げていたことでしょう。

2012年にオランダの民間組織が発表した Mars One という計画がありました。Mars というのは英語で太陽系の惑星の火星のことですが、この計画は 2031 年までに火星に人間が永住できるコロニーを片道切符で建設するというものでした。今から 10 年ほど前に行われた移住希望者の募集に対しては、技術的な困難さや Mars One が 2 度と地球には戻れない旅であることを知りつつも、全世界から 20 万人が応募した事実には私は驚きます。その後の選考で 1058 人に候補者が絞られたとき、日本人も 16 人含まれていました。15 世紀の大航海時代、もし地球が丸いのなら、果てしなく西を目指せばアジアに到達できるはずだと信じた人々は、それを証明するために、道しるべのない大海原へと乗り出した。それと同じように、いつの時代でも、未知なるもの、未踏の地に私たちは強いあこがれを覚えるのです。

ドイツの作家のヘルマン・ヘッセに次のような言葉があります。

「すべての物事のはじまりには不思議な力が宿っている。その力は私たちを守り、私たちが生きていく助けとなる」。

物事のはじまり。今日この入学式の式場にも不思議な力が充満しているのを、皆さんは感じ取ることができますか。長野高校に入学し、新たな仲間たちとともに学びを深めようとする皆さんを迎えたこの場所には、新しい出会いへの期待が満ちています。この力が、将来あらゆる謎、未知なるものに出会うとき、みなさんを守り、生きていく助けとなる。

すべての物事のはじまりを前に私たちは心ふるえる。そのふるえは、価値ある学びが今こそはじまると私たちに教えているのです。

292 名の入学生のみなさん、今日の感激を忘れず、みなさんが多くの謎と未知に遭遇しながら、思いのとおり的高校生活を送られることを私は願ってやみません。

最後に、皆さんの入学を心から祝福している保護者の皆様、同窓会の皆様、学校評議員の皆様ほか本校の教育活動に日頃から深いご理解とご協力をたまわっている皆様に、重ねて篤く御礼を申し上げ、式辞といたします

令和 6 年 4 月 4 日 長野高等学校長 廣田 昌彦